

No 32	山口市立白石中学校
調査研究名	学校と地域との連携による教育活動の推進
調査研究計画	1 地域人材を活用した教育活動の推進 (1) 授業での地域人材の活用 ①社会科:地域の歴史・地理学習におけるゲストティーチャーの依頼 ②美術科:地域で造形活動をされている講師の招聘 ③理 科:地元の博物館の学芸員による出前授業 ④保体科:武道の授業における講師招聘(TTによる授業) ⑤家庭科:地元講師による着付け指導、地域内の幼児との交流授業 (2) キャリア教育における連携 ①1年生の職業講話における地域人材の活用 ②2年生を対象とした職場体験学習における地域の事業所への協力依頼 (3) 学校行事における地域人材の活用 ①文化祭:山口伝統芸能「鷺流狂言」の講師依頼(文化祭での発表) ②体育祭:「よさこい」の地元指導者による演技指導 (4) 部活動における地域人材の活用 ①文化部:合唱団の協力依頼(地元大学生) ②運動部:バスケットボール・野球部の外部指導者の依頼 2 地域におけるボランティア活動の推進 (1) 月に1度のJRC活動(ボランティア活動)での協力依頼(地域と一緒に活動) 3 学校と地域の交流推進 (1) 地域内の関係機関との連携 ①民生・児童委員協議会との連携 ・ 学期に1度、学校において委員会を開催(学校と民生委員との協議会) ②保護司との連絡会への出席 ③ その他、地域の諸団体への教員の参加 ④ 地域運動会、白石フェスティバル、敬老会等地域行事へのボランティアの参加 地区行事への合唱団等の出演 (2) 学校施設の開放 ・ 学校施設の積極的な開放(調理室・図書室・グランド等要望に応じて) 4 その他 ・ 地域連携担当者を位置づけ窓口とする。 ・ 地域交流センターの広報誌への掲載依頼。 ・ 学校便りに「地域連携コーナー」を設け、積極的な情報発信に務める。 ・ ホームページによる情報発信
授業研究・研修等の公開など研究成果の還元方法	
調査研究における成果を、学校ホームページ・学校だより等積極的に公開・情報発信する。	